

令和元年度

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価の結果報告書
(平成30年度事業対象)

美里町教育委員会

— 目 次 —

I	美里町教育委員会事務事業評価の基本方針	・ ・ ・ ・ ・	1 ～ 2
II	教育委員会の活動状況	・ ・ ・ ・ ・	3 ～ 5
III	点検・評価の結果		
	【学校教育点検・評価項目一覧表】	・ ・ ・ ・ ・	6
1	学力向上支援事業	・ ・ ・ ・ ・	7
2	学習支援員事業	・ ・ ・ ・ ・	8
3	心の教室、子どもと親の相談事業	・ ・ ・ ・ ・	9
4	学校図書館図書業務支援事業	・ ・ ・ ・ ・	10
5	小学校外国語指導事業	・ ・ ・ ・ ・	11
6	地域学校保健委員会補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	12
7	学校部活動補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	13
8	全校体育補助事業	・ ・ ・ ・ ・	14
9	集団宿泊教室事業	・ ・ ・ ・ ・	15
10	芸術鑑賞補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	16
11	学校施設整備事業	・ ・ ・ ・ ・	17
	【社会教育点検・評価項目一覧表】	・ ・ ・ ・ ・	18
1	人権教育推進協議会補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	19
2	青少年育成町民会議補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	20
3	放課後子ども教室事業	・ ・ ・ ・ ・	21
4	歴史探訪講座等の開催事業	・ ・ ・ ・ ・	22
5	美里町文化協会補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	23
	【社会体育点検・評価項目一覧表】	・ ・ ・ ・ ・	24
1	美里町ナイター陸上記録会	・ ・ ・ ・ ・	25
2	中学校野球美里大会	・ ・ ・ ・ ・	26
3	町民体育祭	・ ・ ・ ・ ・	27
4	美里町駅伝競走大会	・ ・ ・ ・ ・	28
5	美里町新春霊台橋マラソン大会	・ ・ ・ ・ ・	29
6	宇城中学校新人駅伝大会	・ ・ ・ ・ ・	30

I 美里町教育委員会事務事業評価の基本方針

1. 概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果について報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表する。

このようなことから、本町教育委員会でも効果的な教育行政の推進に資するとともに町民への説明責任を果たすため、外部評価委員会による教育委員会所管の事務事業の点検を行う。

2. 点検・評価に当たっての基本的な考え方

- (1) 成果を重視した行政運営を行うため、事後評価を基本とする。
- (2) 評価の客観性、透明性を確保するため外部評価を行う。
- (3) 評価の対象・方法は、毎年度見直しを行う。

3. 点検・評価の対象

- (1) 教育委員会の活動状況
 - ① 定例及び臨時教育委員会の会議状況
 - ② その他の活動状況
- (2) 教育委員会の所管する事務事業
教育委員会が所管する事務事業について教育委員会事務局で協議し、教育委員会で選定する。

4. 点検・評価の手順

- (1) 教育委員及び教育委員会事務局による自己評価
- (2) 外部評価委員による評価
- (3) 報告書の作成
- (4) 教育委員会で報告書の作成
- (5) 議会への提出及び公表

5. 学識経験者の知見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定により有識者の知見の活用については、点検・評価（自己評価）の結果について、学識経験者を含む5名の外部評価委員に、対象事業についての意見をいただく。

外部評価委員名簿

野 尻 絹 子	長 木 高 義	吉 住 大 輔
井 上 正 広	林 田 眞 典	

6. 教育委員会としての今後の方向性

担当課自己評価に対する外部評価委員のご意見等を踏まえ、最終的に教育委員会として今後の方向性を下記5つの中から選択する。

拡 充	事業規模・内容をより拡大・充実し継続すべき事務事業
維 持	概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
縮 小	現在の方向性でよいが、事務規模については縮小方向で改善していくべき事務事業
改 善	現在の方向性から見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
完 了	完了した事務事業

(参考)

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」抜粋

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務職員等に委任された事務を含む）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 教育委員会議の開催状況

1 教育委員会議

美里町教育委員会の会議は、毎月1回の定例会のほか、必要に応じ臨時会を開催しています。

この会議において、5名の教育委員（教育長1名を含む）が教育行政の基本方針や教育委員会の規則等の制定改廃など、会議において議決を要する事項について次のとおりです。

平成30年度の教育委員会議の開催状況は次のとおりです。

期 日	場 所	議 決 事 項 等
平成30年 4月23日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	・美里町立小中学校の主任等の任命について ・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・平成30年度美里町学校教育取り組みの方向について(協議) ・平成30年度美里町社会教育取り組みの方向について(協議)
平成30年 5月22日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	・学校訪問実施要項、指導の視点(案)について(協議)
平成30年 6月18日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・美里町教育振興基本計画推進委員の委嘱について ・美里町社会教育委員の委嘱について ・美里町公民館運営審議会委員の委嘱について ・美里町スポーツ推進委員の委嘱について
平成30年 7月23日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・美里町中学校における運動部活動の指針(案)について(協議) ・学校における働き方改革について(協議)
平成30年 8月3日 (臨時会)	中央庁舎 第2会議室	・平成30年度使用中学校「特別の教科 道徳」教科用図書の採択について ・平成30年度使用小学校教科用図書の採択について
平成30年 8月24日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	・美里町教職員住宅の管理及び使用料(家賃)に関する条例の一部を改正する条例(案)について(協議)

平成 30 年 9 月 25 日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度美里町就学指導委員会にかかる就学 答申について ・当面する教育課題について(協議) ・美里町教育大綱(案)について(協議)
平成 30 年 10 月 22 日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の 認定について ・当面する教育課題について(協議)
平成 30 年 11 月 19 日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・美里町スクールバスの設置及び運行に関する規則の 制定について ・美里町教育に関する事務の管理及び執行の状況の 点検及び評価の決定について ・当面する教育課題について(協議)
平成 30 年 12 月 20 日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・美里町就学援助費扶助要綱の改正について(協議) ・当面する教育課題について(協議)
平成 31 年 1 月 18 日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・美里町立小中学校就学等に関する規則における 学校変更該当者の協議について(協議) ・小規模特認校制度について(協議) ・当面する教育課題について(協議)
平成 31 年 2 月 18 日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度美里町就学指導委員会にかかる就学 答申について ・美里町就学援助費扶助要綱の一部を改正する要 綱の制定について ・当面する教育課題について(協議)
平成 31 年 3 月 2 日 (臨時会)	中央庁舎 教育長室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 31 年度教職員人事異動について(協議)
平成 31 年 3 月 25 日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度美里町就学指導委員会にかかる就学 答申について ・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の 認定について ・美里町立小中学校評議員の委嘱について ・美里町奨学資金貸付認定について ・美里町社会教育委員の委嘱について ・美里町公民館運営審議会委員の委嘱について ・美里町文集編集委員設置規則の一部改正について ・美里町スポーツ推進委員の委嘱について ・美里町いじめ防止基本方針(案)について(協議) ・当面する教育課題について(協議)

2 その他の活動状況

平成30年度における、その他主な活動は次のとおりです。

- ・スクールバス運行審議会
- ・熊本県市町村教育委員大会
- ・宇城市町教育委員全員研修会
- ・各小中学校訪問
- ・各小中学校入学式・卒業式
- ・各小学校運動会、各中学校体育大会、文化祭（学習発表会）
- ・町成人式典
- ・美里町教育の日講演会
- ・美里町文化祭
- ・町民体育祭他各種イベント事業への出席

美里町教育委員会委員名簿

(平成31年4月1日現在)

職名	氏名	任期
教育長	吉永公力	平成28年12月23日～平成31年12月22日
教育長職務代理者	高田幸也	平成27年12月23日～平成31年12月22日
委員	松本富美代	平成29年12月23日～平成33年12月22日
委員	佐々木聡	平成28年12月23日～平成32年12月22日
委員	北原和子	平成30年12月23日～平成34年12月22日

Ⅲ 事務事業外部評価点検・評価の結果

事務事業外部評価点検・評価項目

番号	担当係	事業名	事業内容	決算額
1	学校教育係	学力向上支援事業	児童生徒の学力向上支援のため教師の指導力向上を高めることを目的とする。	2,800,800
2	学校教育係	学習支援員事業	特別支援学級及び通常学級において、さまざまな個性をもった児童生徒に、学級の担任と協力し学習支援を行う。	17,935,473
3	学校教育係	心の教室、子どもと親の相談事業	悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努める。	1,754,119
4	学校教育係	学校図書館図書業務支援事業	各学校図書館の業務支援のため、図書司書補等を配置し、児童生徒の学習の基礎となる読書活動支援を図る。	6,840,000
5	学校教育係	小学校外国語指導事業	児童が英語に接し、低学年から英会話能力を身につけることで、国際化社会に対応する人材を育成する。	2,577,600
6	学校教育係	地域学校保健委員会補助金事業	学校、地域、家庭の連携のもと、子どもの健康な生活と教育の推進を図るため、中学校区で委員会を設置し活動する。	69,991
7	学校教育係	学校部活動補助金事業	生徒が協調性、責任性、連帯感を育成し、豊かな人間性を培う部活動における経費の一部を補助する。	756,000
8	学校教育係	全校体育補助事業	児童が適切な運動の経験をすることと、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育て、健康の保持増進と体力の向上を目的とする活動における経費の一部を補助する。	162,000
9	学校教育係	集団宿泊教室事業	児童生徒が集団生活を通して基本的な行動様式の定着や野外活動を通じて心身の鍛錬に努める事業に補助する。	531,969
10	学校教育係	芸術鑑賞補助金事業	演劇を鑑賞することによって、心身の調和のとれた発達と人間としての生き方について自覚を深める事業に補助する。	526,900
11	学校教育係	学校施設整備事業	計画的に学校の維持補修等を行うことで、児童生徒等の安全を守り、安心で豊かな教育環境を整備する。また、地域住民の安全と安心の確保に努める。	18,098,010

平成30年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学力向上支援事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・児童・生徒の学力向上支援のため教師の指導力向上を高めることを目的とする		
活動内容	①美里町第2次教育振興基本計画の本年度の重点事項の策定と実践、推進委員会の開催による点検評価及び次年度に向けての対策 ②教育審議員による定期的な授業改善指導訪問(延べ78回の授業指導の学校訪問及び延べ110本の授業参観指導) ③学校の校内研修の研究授業参観と授業研究会での助言 ④教育委員会学校訪問における学校との打ち合わせ及び訪問時の全体会での指導・助言 ⑤「美里町学校教育の取組の方向」、「美里町学力向上アクションプラン」の策定 ⑥学期ごとの学力向上アクションプランの点検・評価(毎学期) ⑦教育委員会議、町内校長会議での学力充実等の説明 ⑧美里町学力向上推進委員会の取組の充実(年間2回の全体会、年間2回の中学校校区ごとの小中連携授業改善研修会の開催) ⑨「教育美里」の発行(授業改善や教育動向の啓発、教育課題や教育資料の紹介など) 第103号～115号の年間13号の発行 ⑩「全国学力学習状況調査」及び「県学力調査結果」の分析・考察と各学校への情報の提供 ⑪宇城地区指導主事・教育審議員等連絡会(年間3回)への出席 ⑫宇城地区学力向上対策会議(年間2回)への出席 ⑬宇城地区教育論文・実践記録の第1次審査の担当		
予算額 決算額	予算額 2,801,000 円	決算額 2,800,800 円	
担当課	●「第2次教育振興基本計画」(2018年度～2022年度)による本町教育の取組が、本年度よりスタートした。学力充実については、年度ごとの「美里町学校教育取組の方向」及び「美里町学力向上アクションプラン」を策定し、学力向上支援に取り組んだ。 ●学力向上の取組の点検・評価については、学期末ごとに美里町学力向上アクションプランを各学校の先生方に自己評価してもらい、PDCAサイクルによる学力向上の推進に努めた。1学期末に比べて2学期末には、30項目中23項目で自己評価の上昇が見られた。また、2学期に入り研究授(授業研究会)が多く実施され、授業改善の取組が充実した。 ●H30年12月実施の熊本県学力調査では、各学年の各教科を総合した定着率の平均では、小学校は県平均と同じで、中学校は県平均を上回った。教科別では、小学校国語は県平均と同じで、算数は県平均を上回った。中学校では、5教科全部が県平均を上回ることができた。特に、中学校の数学は県平均を6%、英語は12%も上回った。 ●小学校外国語活動の導入については、小学校新学習指導要領の移行期間に当たり、本年度から「先行実施」している。3年生及び4年生の外国語活動は年間35時間、5年生及び6年生は年間70時間とし、授業時間を生み出すために、これまで水曜日を5時間から6時間授業に時間割の割り振りを行っている。また、今年度、町内小中学校の外国語担当者研修会を学期1回ずつ実施し、英語教育の充実を図った。 ●「特別の教科 道徳」の取組は、中央小・中学校を会場に、「熊本県道徳教育研究発表会」が開催され、研究が深まった。		
自己評価			

(外部評価委員の意見)

- ・様々な個性があり、それに対応していくことや学力の更なる向上のため、最低限でも維持していく必要がある。
- ・最近、塾に通う子供も多くいると聞く。学力調査の結果は評価できるが、今後とも、学力向上のために色々な支援をお願いしたい。
- ・児童・生徒の学力向上のために、様々な方法を用いて取り組んでほしいと思う。
- ・学力向上は、児童生徒がこれからの社会を生きぬくために大変重要である。その要となる教師の指導力向上の充実に関しても力を入れていく必要があると考える。
- ・存続の危機ともいえる状況の本町にとって、児童生徒が成長したときに、美里町を大切に思うための教育として何が必要なのか、教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動などを総合的に組み込む「ふるさと学習カリキュラム」の構築をぜひお願いしたい。
- ・教育審議員による定期的な事業改善指導訪問等により、熊本県学力調査で小学校は県平均と同じで、中学校は県平均を上回った実績が評価できる。

外部評価委員会としての今後の方向性	拡充 ・ 維持 ・ 縮小 ・ 改善 ・ 完了
教育委員会としての今後の方向性	拡充 ・ 維持 ・ 縮小 ・ 改善 ・ 完了

平成30年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学習支援員事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	<p>・特別支援学級及び通常学級において、さまざまな個性をもった児童生徒に対し、一人一人の教育ニーズに応じた指導を、学級担任と協力して学習支援を行い自立できるよう支援する。</p>		
活動内容	<p>・町内4校の小・中学校において、学習支援員(外国語指導助手、医療的支援含む)9名の非常勤職員を配置し、特別支援学級(砥用小3学級・中央小2学級・砥用中1学級・中央中2学級)や通常学級で学級担任と協力し、取り出し指導等を行った。</p> <p>・児童生徒の問題解決のための研修会を実施した。 H30.7.27「発達障がい理解のために」について 宇城地域特別支援連携協議会 巡回相談員 丸目洋一 教諭(河江小)</p>		
予算額 決算額	予算額 17,936,000 円	決算額 17,935,473 円	
担当課 自己評価	<p>担任以外に非常勤職員を配置することにより、発達障がいを含む障がいのある児童生徒や特別な配慮を必要とする児童生徒に対して、よりきめ細かで適切な教育的支援を図ることによって児童生徒の自立に繋がっている。</p>		

(外部評価委員の意見)	
<p>・個人差に応じた指導を適切に行っていくことや、担任補助として活躍してもらっているので、予算面の制限もあるかと思うが、今後も継続していく必要がある。</p> <p>・児童生徒数の減少により、複式学級編成となった場合、子どもたちの学力低下を防ぐためにも、学習支援員を加配する必要があると思われる。</p> <p>・きめ細かな学習支援ができるので、必要な事業であると思う。報酬及び勤務時間については、考えてほしいと思う。</p> <p>・多様な状況の児童生徒の学習に対応するために、学習支援員の配置は望ましい。しかしながら、現在、支援の方法は支援員の個人の判断に任せられる場合が多い。支援方法についての研修の充実が必要。本年度に実施された、SSWの研修は、講話内容は良かったが、学習支援員は通常SSWとの関わりはなく、職務に直結する研修ではなかったと考える。</p> <p>・特別支援学級の児童生徒の自立には学級担任と協力し、よりきめ細やかな教育的支援が必要と考える。今後も学習支援員の資質向上に務めて頂きたい。</p>	

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成30年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	心の教室、子どもと親の相談事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努める。		
活動内容	<p>・小学校2校(砥用小、中央小)、中学校2校(砥用中、中央中)にそれぞれ1名を配置し、人間関係や生活習慣等に悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努めた。</p> <p>・小学校勤務の子どもと親の相談員の勤務時間を、年間480時間の勤務の中で、子どもや保護者との面談、また相談内容によっては、SCやSSWとの連携を図り、きめ細かな支援ができた。</p> <p>・児童生徒の問題解決のための研修会を実施した。 H30.7.27「発達障がい理解のために」について 宇城地域特別支援連携協議会 巡回相談員 丸目洋一 教諭(河江小)</p>		
予算額 決算額	予算額 1,755,000 円	決算額 1,754,119 円	
担当課 自己評価	<p>悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努め、保護者と連携強化を図ったことで、悩みや不安の軽減あるいは解消につながっている。</p> <p>平成28年熊本地震による中長期的な心のケアが必要な児童生徒が継続しているため、本年度も個人面談をすることによって、一人一人の状況把握とケアを行うことができた。</p>		

(外部評価委員の意見)	
<p>・担任以外の職員に気軽に相談できることは、子どもたちの心の安定にとっては、非常に効果的であるので、継続すべきである。</p> <p>・子どもの悩みや不安に担任以外で相談できる環境づくりは大切だと思う。</p> <p>・いろんな悩みや不安を持つ子供たちが多くなっている様なので、気軽に相談できる環境は必要だと思う。</p> <p>・子どもにとって担任とは違う立場の人に話ができるシステムは意義があると思う。</p> <p>・不登校の児童生徒の有無や保護者との面談の必要の有無など学校の状況は年によって異なる。現在の予算や勤務時間の実態では、厳しい状況への対応まではかかわることができない。校長の判断で、実態として勤務時間を増やす必要がある場合は増やすことができるシステムがあると、児童生徒、保護者だけでなく教師の負担軽減にもなるのではないかと。</p> <p>・人間関係や生活習慣等に悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者は多いと思う。これらの問題に気軽に相談できる環境は必要であり、問題解決のための研修会も実施され相談員の資質向上にも努められている。</p>	

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成30年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学校図書館図書業務支援事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校図書館の業務支援のため、学校図書管理員を配置し、児童生徒の学習の基礎となる読書活動支援を図る。 		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校図書館へ非常勤の学校図書管理員(各学校1名で計5名)を配置し、学校図書館の整理や児童生徒の図書利用の拡大を図る為の年間取組計画(各学校教育諸計画の図書館教育)の作成や、図書活動支援を行った。 ・平成29年度より、リーダー的存在となる学校図書管理員を学校図書指導員とし、各小中学校の図書指導巡回を行った。 ・学校図書管理員の資質向上を図る為の研修会に参加した。 		
予算額 決算額	予算額 6,840,000 円	決算額 6,840,000 円	
担当課 自己評価	<p>学校図書館の業務は、児童生徒の読書活動支援に不可欠であり、主体的学習を援助し、図書館の整理、保管に必要な業務である。 また、職員自身も司書資格を取得するなど自己研鑽をはかり、現在司書2名、司書補1名となり、図書利用をさらに進める体制が確立している。</p>		

(外部評価委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の職員だけでは、図書館の管理や読書活動を効果的に進めることは困難である。その意味でも、学校図書管理員の配置はぜひ必要であり、現在の学校図書管理員の先生方も意欲的に頑張っていたらいい。 ・これからも児童生徒のために、読書支援活動の支援を継続していただきたい。 ・児童・生徒の読書活動のための支援は不可欠である。図書管理委員も頑張っておられ、期待する。 ・美里町の学校図書館の運営は、他の市町村に誇れるものであると考える。図書の管理だけでなく、読書センター、学習センター、情報センターとしての運営の要となる職員であるので、学校図書館法に示す「学校司書」という職名への変更が必要だと考える。 ・児童生徒の読書活動は、言葉を学び、多くの知識を得たり表現するうえで不可欠であり、児童生徒の読書活動を推進していく事は極めて重要と思われる。 	

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成30年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	小学校外国語指導事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・低学年から英語に接し、英会話能力を身につけることで、国際化社会に対応する人材を育成する。		
活動内容	<p>・小学校の1年生から4年生を対象に、非常勤の外国語指導助手2名(1名は学習支援員を兼任)を配置する。担任と協力し、楽しく基本的な英語活動を行う中で、コミュニケーション能力の育成を図る。また、5・6年生に関しては、外国語指導助手が担任の助手として授業に参加し、学習指導要領に定められた外国語活動を行うことで、外国語の発音や基本的な表現に慣れ親しませながら、中学校英語教育の素地を養う。</p> <p>※新学習指導要領による外国語科(5、6年生)、外国語活動(3、4年生)は平成30年度より先行実施</p>		
予算額 決算額	予算額 2,578,000 円	決算額 2,577,600 円	
担当課 自己評価	英語を通じて、外国の言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育っている。		

(外部評価委員の意見)	
<p>・小学校の教員にとって外国語の指導は非常に負担が大きい。その意味でも、外国語指導助手の存在はありがたい。指導の方法や教材等の準備など、担任だけでは、能力的にも時間的にも無理があるので、継続すべきである。</p> <p>・小学校低学年から英語にふれることは意義があり、今後も継続していくことが必要と考える。外国語に触れる最初の機会として、児童が興味を持てるような授業をお願いしたい。学習はスタートが肝心だと思う。</p> <p>・小学校低学年から英語に接する事ができ、とても良い事業だと思う。まず、興味・関心をもってもらいたいと思う。</p> <p>・英語教育は、今必要とされている力であるが、担任の英語力による指導力の差が大きい。英語指導助手の配置は、英語指導において大変有効であると考えます。</p> <p>・現代社会では英会話を身につける事は国際社会に対応する為に必要であり、コミュニケーション能力や異文化の理解を深めている。</p>	

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成30年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	地域学校保健委員会補助金事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・学校、地域、家庭の連携のもと、中学校区で設置された学校保健委員会により、児童生徒の健康な生活と教育の推進を図る。		
活動内容	<p>・各中学校区において地域学校保健委員会を設置し、学校、地域、家庭の連携のもと、児童生徒の健康な生活と教育の推進を図った。 砥用地区：48名（すこやか委員会） 中央地区：41名（はぐくみ委員会）</p> <p>・平成29年度より、教育の日講演会を両地域学校保健委員会、美里町PTA連合会と合同で開催実施している。</p> <p>・中央中校区において、委員会内下部組織に保小中連携部会を設置し、講演会を開催した。</p> <p>・砥用中地区においては、委員会研修として講演会とグループ討議を開催した。</p>		
予算額 決算額	予算額 70,000 円	決算額 砥用地区 中央地区	40,000 円 29,991 円
担当課 自己評価	地域内の学校保健に関する問題点の解明に関係機関との連携を密にし、児童生徒の豊かな健康生活の向上に寄与している。また、就学時の情報共有にもなり、児童生徒への対応へも繋がっている。		

(外部評価委員の意見)

- ・学校と地域と連携して子どもたちの様々な健康課題について共通理解できる場であるので継続が必要である。
- ・町全域で児童生徒への健康な生活環境を向上させることが大切だと考える。
- ・地域との連携のもとに、児童・生徒の健康生活向上に努めてほしい。
- ・幼稚園、保育所、小学校、中学校の連携、町内各学校間のつながり、保護者との連携は必要なことであり、行政として支援の継続が必要と考える。
- ・学校、家庭、地域が連携して児童生徒の健康生活の向上に務められている。

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成30年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学校部活動補助金事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・生徒が協調性、責任性、連帯感を育成し、豊かな人間性を培う部活動における経費の一部を補助する。		
活動内容	<p>・砥用中(6部) 378,000円補助(63,000円×6部) 野球部15人、サッカー一部32人、柔道部7人、剣道部18人、陸上部21人、バレー部13人</p> <p>・中央中(6部) 378,000円補助(63,000円×6部) 野球部16人、テニス部17人、サッカー一部20人、バレー部13人、文化部18人、陸上部20人</p> <p>※補助金の主な支出内容は、試合参加費負担金、及び道具類の購入 ※小学校はH30年度より社会体育へ移行</p>		
予算額 決算額	予算額 756,000 円	決算額 756,000 円	
担当課 自己評価	<p>部活動をととして、体力の向上と技能の習熟、人間力向上を図るとともに、生涯にわたってスポーツに親しむ資質や能力、コミュニケーション能力を育むためにも必要であり、保護者の経済的負担軽減につながっている。</p> <p>小学校については、社会体育移行により部活動補助はなくなったが、社会体育移行により体力の二極化が進み、体力格差が懸念される。</p>		

(外部評価委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> ・部活動には、色々経費が必要。保護者の負担軽減のために必要な事業だと思う。 ・何かと経費はかかる中、少しでも補助があると保護者も負担軽減になると思う。 ・生徒数が少なくなって部の存続も難しくなっていくと考えられるが、現状と同等の補助により、生徒や保護者の支援を行っていく必要があると考える。 ・大会や練習試合で生徒の送迎には保護者の協力が必要であり、経済的負担にもなっていると思われるので、一部分でも経費の軽減になり必要と思われる。 	

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成30年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	全校体育補助金事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・児童が適切な運動の経験をすることと、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに、健康の保持増進と体力の向上を目的とする。		
活動内容	<p>・砥用小 54,000円補助 (5-6月:ソフトバレー 6-8月:水泳、陸上 11-3月:ミニバスケット、ハンドベースボール、サッカー)</p> <p>・励徳小 54,000円補助 (ラジオ体操、体ほぐし運動、体づくり運動、ボールを使った運動、長縄跳び) (各月、第1, 2, 3週の木曜日の業間で実施)</p> <p>・中央小 54,000円補助 (短距離走、体操、固定施設を使った運動、短縄跳び、長縄跳び、持久走、鬼ごっこ、体づくり運動) (毎月、第4週目の木曜日 業間:13:45~14:00、毎朝の運動タイム:8:00~8:15で実施)</p> <p>※小学校はH30年度より社会体育へ移行</p>		
予算額 決算額	予算額 162,000 円	決算額 162,000 円	
担当課 自己評価	<p>学校部活動が社会体育へ移行した本年度から、クラブに加入し運動している児童と、加入しない児童の運動(体格)格差が出てきている。また、この時期に運動の経験をしなければ、生涯にわたって適切な運動の経験のない大人へ成長する可能性もあるため必要である。</p>		

(外部評価委員の意見)	
<p>・現在も様々な機会を設けて運動の場を設定しているが、そのためにも道具等をそろえる必要があるので、継続すべきである。</p> <p>・児童の将来のためにも体を動かす機会は重要であると考え。各小学校で、工夫して行われている。先生方の負担にならないように継続していただきたい。</p> <p>・何かと経費はかかる中、少しでも補助があると保護者も負担軽減になると思う。</p> <p>・授業時数も増え、教育課程外の活動の時間確保には学校も苦慮していると考えられる。全校体育だけではなく、学級づくりや交流会など様々な機会を活用した体力向上に向けた取組に活用できるとよいのではないか。</p> <p>・健康の保持と体力向上に寄与していると思われるが、早朝のランニング等先生のボランティア的な協力で行われているので、一考の必要があると思われる。</p>	

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成30年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	集団宿泊教室事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・児童生徒が集団生活を通して基本的な行動様式の定着や野外活動を通じて心身の鍛錬に努める事業に補助する。		
活動内容	<p>・中学校1年生、小学校5年生を対象に少年自然の家等を利用し、集団生活を通して基本的な行動様式の定着を図るとともに、野外活動を通じて心身の鍛錬を行った。</p> <p>砥用小学校:あしきた青少年の家 励徳小学校:あしきた青少年の家 中央小学校:あしきた青少年の家 砥用中学校:豊野少年自然の家 中央中学校:豊野少年自然の家</p> <p>・町補助(1人当たり3,000円予算)にて事業実施、一部学級費を使用</p>		
予算額 決算額	<p>予算額</p> <p>小学校 243,000 円 中学校 293,000 円</p>	<p>決算額</p> <p>小学校 240,000 円 中学校 293,969 円</p>	
担当課 自己評価	<p>集団生活を通して基本的な行動様式が図られている。また、小・小連携、中・中連携することによって、学校間を超えた児童・生徒の繋がりにもなっている。</p>		

(外部評価委員の意見)

- ・集団生活を継続的に実施し、小・小連携等を進めていく上で必要である。
- ・学校では得られない貴重な体験ができる機会であり継続。中央地区と砥用地区が合同で行うことは児童・生徒にとってもプラスになることが多いと考える。
- ・集団での宿泊活動生活で、多くの事を学び成長してほしい。できれば、町内の施設も利用してほしいと思う。
- ・集団宿泊教室は教育効果の高い行事であると考えられ、保護者の経済的負担を気にせずに、すべての児童生徒が参加できることは意義があると考ええる。
- ・集団生活の中での野外体験活動の体験や学校間の交流は意義があると思われる。

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成30年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	芸術鑑賞補助金事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・演劇を鑑賞することにより、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を構築する自主的、実践的な態度を育てるとともに自己を生かす能力を養う。		
活動内容	<p>・小中学校で実施する演劇鑑賞の事業に対して経費の補助を行う。</p> <p>砥用小学校：劇団ドリームカンパニー・・・ミュージカル 励徳小学校：劇団ドリームカンパニー（砥用小学校と合同） 中央小学校：劇団「民話芸術座」・・・民話劇『鬼の小づち』 砥用中学校：劇団「民話芸術座」・・・民話劇『キジムナーの約束』 中央中学校：宇土太鼓芸能集団「袖衣」</p> <p>・町補助（1人当たり1,000円予算）にて事業実施</p>		
予算額 決算額	<p>予算額</p> <p>小学校 326,000 円 中学校 222,000 円</p>	<p>決算額</p> <p>小学校 316,036 円 中学校 210,864 円</p>	
担当課 自己評価	<p>小中学校で実施する演劇、音楽鑑賞等の優秀な文化・芸術に親しみ、また、触れる機会を提供し、感性や教養、「豊かな心」の育成につながっている。</p> <p>また、砥用小、励徳小合同での開催により、限られた予算内で、学校間連携が図られた。</p>		

(外部評価委員の意見)	
<p>・なかなか体験できないことであるので、継続して欲しい。</p> <p>・児童・生徒が様々なものに触れて、何かを感じてそれが将来なりたい自分を見つけるきっかけになると考える。予算の範囲内で継続していただきたい。</p> <p>・演劇や音楽の鑑賞ができる、良い機会だと思う。</p> <p>・芸術鑑賞の機会が少ない児童・生徒にとって有意義な事業であると考えられる。しかしながら、児童生徒数の減少により、質の高い劇団等の招聘が困難になっていくと考えられる。文化交流センターの自主事業との連携等の検討も、今後実施してはどうか。</p> <p>・文化、芸術に親しみ教養の育成につながっている。しかし、児童生徒の人員も減少傾向にあり1人当たり1,000円の補助では開催に向けて支障をきたしているように思われる。</p>	

外部評価委員会としての今後の方向性	<p>拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了</p>
教育委員会としての今後の方向性	<p>拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了</p>

平成30年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学校施設整備事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・建設後20年を経過する校舎や屋内運動場等もあり、安全面をはじめ環境衛生面、地域の避難施設等の観点から施設の維持補修や改修工事を計画的に実施し、適切な維持管理に努める。		
活動内容	砥用小学校:ひかり電話整備工事 励徳小学校:励徳小学校給食室改修工事 ひかり電話整備工事 中央小学校:教職員住宅解体工事 ひかり電話整備工事 砥用中学校:屋内消火栓配管改修工事 ひかり電話整備工事 中央中学校:ひかり電話整備工事		
予算額 決算額	予算額 小学校 8,128,000 円 中学校 10,011,421 円	決算額 小学校 8,103,628 円 中学校 9,994,382 円	
担当課 自己評価	学校施設は、児童生徒等の学習・生活の場であり、公教育を支える基本的施設であるとともに、地域住民にとっては身近な公共施設として、また、災害発生時の避難場所ともなる施設として重要な役割を担っている。 計画的に学校の維持補修等を行うことで、児童生徒等の安全を守り、安心して豊かな教育環境が整備できている。また、地域住民の安全と安心の確保に繋がった。		

(外部評価委員の意見)

- ・学習環境整備は、すべての児童生徒が安心して学校生活を送り、様々な活動に取り組むことができる環境づくりが必要である。
- ・維持・補修工事は計画的に行っていただきたいと思う。
- ・学校は、、児童生徒の安全な教育の場であるとともに、災害時の避難所ともなる。学校施設を計画的に整備していくことは必要なことであると考えている。
- ・学校施設の長寿命計画等を策定され、中長期的な取り組みにより、適切な維持管理に務められたい。

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

事務事業外部評価点検・評価項目

番号	担当係	事業名	事業内容	決算額
1	社会教育係	人権教育推進協議会補助金事業	町内における人権教育の推進を図ることを目的とする。	100,000
2	社会教育係	青少年育成町民会議補助金事業	青少年問題の重要性に鑑み広く町民の総意を結集し、次世代を担う青少年の健全な育成を図る	256,000
3	社会教育係	放課後子ども教室事業	放課後等において、小学校の施設等を使用し、子どもたちの安心・安全な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強・スポーツ・文化活動など、地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	919,185
4	社会教育係	歴史探訪講座等の開催事業	石橋をはじめとする多種多様な文化財を活用し、郷土の歴史・文化に對し理解と関心が高まるよう歴史探訪講座(生涯学習講座)や説明会・研修会を開催する。	40,000
5	社会教育係	文化協会補助金事業	町内各文化関係団体相互の連絡調整を図るとともに、本町文化振興に寄与する。	325,000

平成30年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	人権教育推進協議会補助金事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	町内における人権教育の推進を図ることを目的とする。		
活動内容	<p>人権教育の研究と実践及び各種研修会の開催と各種研修会への派遣。 人権教育の研究と実践については、平成30年7月に、町人権教育推進協議会・町青少年育成町民会議・社会を明るくする運動町推進委員会による3団体合同で、“第68回社会を明るくする運動 美里町民の集い(美里町人権教育推進大会)”を開催。講師として、元幼稚園教諭・保育士の又野 亜希子さんをお招きし、講話を実施した。 各種研究会への派遣については、平成30年8月の第45回宇城地区人権教育研究大会への参加要請を行った。 各種研修会の開催については、平成31年1月に行政職員を対象とした人権教育研修会として、「ともに拓くLGBTIQの会くまもと」の今坂洋志さんをお招きし、研修会を実施した。</p>		
予算額 決算額	100,000 円	決算額	100,000 円
担当課 自己評価	<p>障がい者の人権や性的マイノリティをはじめ、様々な人権問題について学び、学習を通じて正しい知識や豊かな人権感覚を身につけることができると考えている。 総会資料を精査した結果、予算については適正に執行されており、行事等も、事業の目的達成のために活動されている。予算額の大部分を補助金が占めており、補助金については現状維持が望ましいと考えている。 また、行政職員を対象とした人権研修会については、部落差別解消法の法律の施行に伴う研修内容を計画したい。</p>		

(外部評価委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校や行政だけでなく、地域住民の人権意識を高める上でも重要である。 ・様々な人権問題があり、多くの方に人権教育への参加を呼びかけることが重要であると考えます。 ・人権教育を行うことは必要だと思う。 ・人権教育の推進は、行政、住民が連携して実施していくことが求められており、今後も取組の継続が必要。 ・人権教育については高齢者の理解が必要と思われるが、人権教育大会の開催チラシを全戸に配布して講話等が実施されており、事業目的の遂行に適切に執行されている。 	

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成30年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	青少年育成町民会議補助金事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	青少年問題の重要性に鑑み広く町民の総意を結集し、次世代を担う青少年の健全な育成を図る。		
活動内容	<p>補導部会と育成部会に分けて活動を行っており、補導部会は毎月1回の巡回指導とふるさと祭り、やまびこ祭りの巡回指導を実施した。また、学校の各学期末には会議を開催して、町内小中学校及び近隣の高等学校の生徒指導の先生と情報交換を行った。</p> <p>育成部会については、青少年に自然のすばらしさ、友とのふれ合い・地域の人との交流により、思いやりを持った子どもの育成を図ることを目的として、さくら健康フェスタの共催や町PTA連合会で取り組んでいる子ども110番事業に対し、子ども110番のぼり旗の購入補助を実施した。</p>		
予算額 決算額	予算額 256,000 円	決算額 256,000 円	
担当課 自己評価	<p>総会資料を精査した結果、予算については適正に執行されており、行事等も多岐にわたり、事業の目的達成のために活動されている。予算額の大部分を補助金が占めており補助金については現状維持が望ましいと考えている。</p> <p>また、子ども110番事業については、町PTA連合会と設置個所の情報を共有化し、地域の犯罪予防に努めていきたい。</p>		

(外部評価委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> ・スマホ依存が進む現代において、ネットやSNS等における青少年問題への対応についての啓発や教育事業にも是非取り組んでいただきたい。 ・青少年育成のために、忙しい中頑張っておられる。活動の状況を、もっと町民の方に知ってほしいと思う。 ・児童、生徒の問題行動未然防止や対応については、例年通りだけでなく、常に状況把握と組織的な連携行動を行うキーパーソンが必要と考える。駐在所の警察官と学校、社会教育施設の日常的な連携をもう少し増やすことも必要ではないか。 ・青少年の健全育成のために巡回指導や各学校の生徒指導の先生と情報交換に努められ、地域の人達も犯罪予防に協力をいただいで活動されている。 	

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成30年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	放課後子ども教室事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	放課後等において、小学校の施設等を使用し、子どもたちの安心・安全な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強・スポーツ・文化活動など、地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		
活動内容	町内全小学校において実施(3小学校) [中央小:児童(1年~3年)16人、スタッフ:8人、水曜日・金曜日実施]宿題指導、おやつ作り、ニュースポーツ、ゲーム大会、季節の行事等 [励徳小:児童(1年~2年)11人、スタッフ:20人、月曜日・水曜日実施]宿題指導、昔遊び、プラバンづくり、季節の行事等 [砥用小:児童(2年~6年)]50人、スタッフ:7人、火曜日・木曜日(火・木前半は算数教室、木後半はバスケット教室)		
予算額 決算額	予算額 1,010,000 円	決算額 919,185 円	
担当課 自己評価	核家族化や地域の繋がりの希薄化や共働き世帯の増加する現状で子どもたちの居場所づくりを地域住民の方々で参画して行う良い事業だと考えている。また、児童の学力やコミュニケーション能力の向上及び地域住民の生きがいづくりにも繋がっていると考えている。 スタッフ数が減少しているため、今後はスタッフを確保する必要があり、スタッフの発掘と共に後継者の必要があると考えている。		

(外部評価委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの安心安全な場の確保と、地域の方との交流という意味に於いて意義深いので継続すべきである。 ・放課後の子どもたちの居場所として、また学校・家庭のみでなく、地域が子どもを育てていく中心となる事業だと考える。実施内容が子供たちが楽しめ、地域との繋がりを感じれるようなものにしていただきたい。 ・学校・家庭のみでなく、地域で子供たちを育てる事は大事だと思う。スタッフの確保が大変だと思うが頑張ってほしい。 ・地域の実態や家庭の状況で学校外の子どもの活動環境にも格差が生じている。放課後等に地域の力を活かして、学習、運動、体験の機会を提供することは重要なことである。本来なら拡充が望ましいが、対応できるスタッフの確保が課題であることから、現状を維持していくことが必要と考える。 ・熊本県放課後子供プラン事業の補助事業として実施され、地域住民の参画を得て、地域社会の中で健やかに育まれている。スタッフの確保にも努めて頂きたい。 	

外部評価委員会としての今後の方向性	拡充 ・ 維持 ・ 縮小 ・ 改善 ・ 完了
教育委員会としての今後の方向性	拡充 ・ 維持 ・ 縮小 ・ 改善 ・ 完了

平成30年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	歴史探訪講座等の開催事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	石橋をはじめとする多種多様な文化財を活用し、郷土の歴史・文化に対し理解と関心が高まるよう歴史探訪講座(生涯学習講座)や説明会・研修会を開催する。		
活動内容	西南戦争と城跡を中心に5回の講座を開催した。 第1回:『宇土城跡の歴史と調査について』受講者15名 第2回:『1877 西南戦争』～約百四十年前の熊本～ 受講者21名 第3回:『島津啓次郎と西南の役』 受講者19名 第4回:『美里町の城跡について ～岩尾野城を中心として～』 受講者27名 第5回:合戦・堅志田城!』 受講者12名		
予算額 決算額	予算額 40,000 円	決算額 40,000 円	
担当課 自己評価	美里町の歴史をより深く理解する機会の提供を行っている事業と考えている。また、石橋をはじめとする多種多様な文化財を住民の方々に理解して頂き、文化財保護への意識を高めてもらうことに有効だと考えている。		
(外部評価委員の意見) ・広く町民に知らせるような講座の開催もお願いしたいと思う。少し事業費の増額も必要であると考ええる。 ・美里町の歴史を知る良い機会だと思と共に、文化財の保護への意識を高めてほしいと思う。 ・本来の目的である美里町の歴史、文化について町民が学ぶということを実現化する事業であるべき。このままでは、美里町の文化財や歴史について話ができる人材もいなくなってしまう。講座だけでなく、学芸員等の専門職の育成も必要。 ・講座の1週間前に葉書で期日、場所、内容の通知が行われているが、そのための通信料は、第1回目の講座で一括して示せば削減できる経費である。60円×30人×5回=9000円であり、小さな支出も回を重ねると大きくなる。不必要な支出を抑え、必要なところに支出をする運営について留意願いたい。 ・本町の文化財に理解と関心を高める事業であり、少額の予算で有効に取組まれている。			

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成30年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	美里町文化協会補助金事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	町内各文化関係団体相互の連絡調整を図るとともに、本町文化振興に寄与する。		
活動内容	<p>年1回の主催事業の実施と文化祭を開催した。主催事業については、7月に七タコンサート「清和文楽人形浄瑠璃 雪おんな」の公演を実施し、約370名の方々が観覧された。コンサート開催時には、サークル展も同時に開催し、多くの来場があった。</p> <p>文化祭については、所属サークル52団体が展示の部、ステージ発表の部に分かれて開催。展示の部については、発表の部の1週間前から作品の展示を行い、多くの町民が来場した。発表の部については11月3日 文化の日に開催し、終日賑わった。</p>		
予算額 決算額	325,000 円	決算額	325,000 円
担当課 自己評価	<p>会員皆さんの協力により、当初の計画通り、文化祭及び主催事業を実施することができたことは、評価できていると考えている。</p> <p>総会資料を精査した結果、予算については適正に執行されており、行事等も多岐にわたり、事業の目的達成のために活動されている。予算額の大部分を会費・補助金が占めており補助金については現状維持が望ましい。</p>		

(外部評価委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> ・町民が文化的な活動をすることに支援していくことは、心豊かな町づくりとして必要なことであると思う。更なる創意工夫をお願いしたい。 ・色々な事業を開催されている。今後も期待する。 ・文化協会は、主体的に町民の文化活動の振興に努力されており、行政としても支援を行っていくことは必要であると考えている。 ・会員513名で主催事業や文化祭など本町の文化振興に努力されておられるが、会費・主催事業での収入も現予算では多くは望めないし、繰越金も事業費の16%で補助金の増額が必要と思われる。 	

外部評価委員会としての今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡充 ・ 維持 ・ 縮小 ・ 改善 ・ 完了
教育委員会としての今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡充 ・ 維持 ・ 縮小 ・ 改善 ・ 完了

事務事業外部評価点検・評価項目

番号	担当係	事業名	事業内容	決算額
1	社会体育係	第27回 美里町ナイター陸上競技記録会 (委託料)	参加者相互の交流と連帯を深め、自己の体力を養いスポーツの基礎である陸上競技の技術を身につけ、少しでも高い記録に到達できるよう挑戦することを目的に実施を予定していたが、台風接近に伴い中止。	69,083
2	社会体育係	第33回 中学校野球美里大会 (補助金)	中学生の健全な精神と身体の発達を期し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、近隣中学校との親睦を深めることを目的に実施を予定していたが、2日間とも雨天により中止。	76,235
3	社会体育係	第15回町民体育祭 (町体育協会予算)	広く町民にスポーツを普及し、健康増進とスポーツ精神の高揚を図り、併せて明るく豊かな町づくりに寄与することを目的に実施。(球技の部11支部・スポーツ大会の部11支部対抗) (9月下旬から各種球技大会。体育の日前日:スポーツ大会の部)※スポーツ大会の部は台風接近に伴い中止。	218,747
4	社会体育係	第15回美里町駅伝競走大会 (町体育協会予算)	町民の健全な精神と体力の向上を図り、長距離選手の育成と連帯性ある町づくりに寄与し、併せて郡市対抗駅伝競走大会の選手選考を兼ねて実施。(10支部13チーム参加)	280,000
5	社会体育係	第48回 美里町新春霊台橋マラソン大会 (委託料・他)	走ることにはすべての運動の基礎であり、体力づくりや健康づくりに欠かせないもので、幼年から高齢者に至るまですべての人に適切な運動である。新春にふさわしく、家庭の「ふれあい」と地域仲間の連帯性を深めることを目的に実施。 (町内参加者:78名・町外参加者:337名 計415名)	192,315
6	社会体育係	第39回宇城中学校新人駅伝大会	中学生の健全な精神と体力増強をめざし、各学校独自の工夫がそれぞれなされ取り組まれている。こういった中でスポーツでも一番苦しいとされている駅伝大会を計画し、スポーツマンシップの高揚と宇城管内の中学生の親睦を深め、冬季トレイルニングの成果発揮の場として実施。(宇城管内10校、男子14チーム:女子14チーム参加)	94,550

平成30年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第27回美里町ナイター陸上記録会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	参加者相互の交流と連帯を深め、自己の体力を養いスポーツの基礎である陸上競技の技術を身につけ、少しでも高い記録に到達できるよう挑戦することを目的に実施。		
活動内容	<p>「美里町陸上競技協会」に委託し、7月29日(日)・美里町総合公園グラウンドにおいて、トラック競技24種目、フィールド競技3種目の開催を予定していたが、台風の接近に伴い、大会を中止した。</p> <p>※参加費なし ※予算支出用途(消耗品費・仮設照明料等)</p>		
予算額 決算額	270,000 円	決算額	69,083 円
担当課 自己評価	<p>小中学生の練習の成果を発揮する場として有効と思われる。</p> <p>特に、中学生にとっては9月に開催される中体連に向けて、個人の実力を知る恰好の機会であり意識の高揚にも繋がると考えられる。熱中症対策として、例年より開催時間を遅らせ開催を予定した。</p>		

(外部評価委員の意見)

- ・参加者の減少等も考慮に入れ、今後の方向性を明確にする時期ではないか。
- ・開催時間を十分考慮し、参加する子供たちの体調を重視して行っていただきたい。
- ・開催時期については、9月に開催される中学生の中体連に向けて7月に実施されているが、そこにこだわらなくても良いのではないかと思う。
- ・真夏の実施及び運動部活動の廃止により小学生の参加者は減少していると考え。対象を中学生以上に絞った事業とする等、実態に応じた改善を行いながら実施していくことが必要ではないか。
- ・開催時間を遅らせるなど参加者の立場に立って開催されており、小中学生の体力向上や陸上競技の技術の習得に成果を上げていると思われる。

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成30年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第33回中学校野球美里大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	中学生の健全な精神と身体の発達を期し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、近隣中学校との親睦を深めることを目的に実施。		
活動内容	<p>「美里町中学校野球実行委員会」に補助金を支出し、9月8・9日(土・日)の2日間、美里町総合公園グラウンド、町営球技場において、中体連後の新人戦として宇城管内の中学校から、10チームの参加により予定していたが、両日とも雨天により大会を中止した。</p> <p>※予算支出用途(メダル・消耗品費他)</p>		
予算額 決算額	予算額 150,000 円	決算額	76,235 円
担当課 自己評価	中体連後、夏休みの練習成果を試す有効な大会と思われる。また、参加校を宇城管内のみに見直して実施している。 予算は参加費(8,000円/1チーム)を徴収しても現額で適正と考える。		

(外部評価委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> ・是非大会を通して近隣中学生徒同士の交流、親睦を深めて欲しい。 ・生徒数が減少し、チーム編成も大変だと思うが、継続してほしいと思う。 ・少子高齢化の中で、町内中学校の野球部の活動も年々困難な状況になってきているのではないかと考える。 ・事業受託の「美里町中学校野球実行委員会」の意見を聞きながら、廃止も含めて今後の検討が必要な事業ではないかと考える。 ・参加校を宇城管内のみに見直して開催されており、大会経費も参加費を徴収して実施され、事業目的の達成に務められている。 	

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成30年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第15回町民体育祭	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	広く町民にスポーツを普及し健康増進とスポーツ精神の高揚を図り、併せて明るく豊かな町づくりに寄与することを目的に実施。		
活動内容	<p>9月18日(火)から10月3日(水)の間、美里町総合公園グラウンド・カントリーパークグラウンド・美里町総合体育館・砥用中体育館・砥用小学校体育館において開催した、球技の部(4種目・11支部)に述べ708人が参加。10月7日(日)美里町総合運動公園グラウンドで開催予定だったスポーツ大会の部は、台風25号の接近により中止。</p> <p>※参加費なし ※予算支出用途(施設使用料・種目協会運営費・消耗品費等) ※結果 球技の部 優勝(中央支部) 2位(浜戸川支部) 3位(南部支部・西部支部)</p> <p>スポーツ大会の部 台風接近により中止</p>		
予算額 決算額	予算額 600,000 円	決算額 218,747 円	
担当課 自己評価	事業目的達成のためには意義ある大会であると思われる。スポーツ大会の部は中止となったが、球技の部の参加人員も例年と変わらず、今後も支部の再編及び幅広い年代が参加出来るよう種目等の見直しも必要と考える。		

(外部評価委員の意見)

- ・町民の参加者も年々減少しているように感じる。少ない人数でも楽しめるように支部同士の交流が出来るような種目を入れても良い。午前中で終わるようなプログラムに変更しても良いのではないかと。
- ・支部の編成を願う。支部数を減らす事により、プログラム数を増やすか、午前中で終了する事もできると思う。
- ・町民がともに集い、スポーツに親しむ機会であり必要な事業と考える。参加者の増加を図ることも必要ではないか。高齢者に人気のガンバルーンゲームなど、世代を超えて誰もが参加できるニュースポーツを追加していくことなども検討してはどうか。
- ・町民のスポーツの普及と健康増進に寄与していると思われるが、スポーツ大会の1年毎の会場変更は見直してもいいのではないかとと思われる。

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成30年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第15回美里町駅伝競走大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	町民の健全な精神と体力の向上を図り、長距離選手の育成と連帯性のある町づくりに寄与し、併せて郡市対抗駅伝競走大会の選手選考を兼ねて実施。		
活動内容	<p>「美里町陸上競技協会」に委託し、12月9日(日)町内駅伝コース(14区間・全長27.2km)において、町内10支部より13チームが参加して実施。</p> <p>※参加費なし。</p> <p>※予算支出用途(区間賞メダル・ゼッケン・役員弁当代等)</p> <p>※結果 優勝(浜戸川右岸) 2位(畝野支部A) 3位(都原支部A)</p>		
予算額 決算額	予算額 310,000 円	決算額 280,000 円	
担当課 自己評価	<p>町民の関心も高く地域の連帯感を醸成するのには効果があると思われる。</p> <p>また、郡市対抗駅伝大会の選手選考の良い機会と考える。</p> <p>災害復旧工事が完了したため従来のコースにより開催したが、今後も中継所の見直しを含め事故防止については十分検討し配慮したい。</p>		

(外部評価委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> ・コースの安全性を十分に確保してこれからも継続していただきたい。 ・選手の選考については、各支部大変苦勞されているので、支部の編成又は、支部の合同での参加を検討していただきたい。 ・地域により実施についての意欲及び参加者の実情が異なると考えられる。高齢化が進む中、地域の要望に応えながら、無理をせず安全な実施に配慮願いたい。 ・支部対抗の駅伝大会で地域住民の連帯感もあり、中長距離選手の発掘の大会としても効果があると思われる。 	

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成30年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第48回美里町新春霊台橋マラソン大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	走ることは全ての運動の基礎であり、体力づくりや健康づくりに欠かせないもので、幼年から高齢者に至るまで全ての人に適切な運動である。新春にふさわしく家庭の「ふれあい」と地域仲間の連帯性を深めることを目的に実施。		
活動内容	「美里町陸上競技協会」に委託し、1月1日(火)美里町総合運動公園グラウンド発着コース(13種目・男女年齢別)において、町内外より415人(内町内78人)が参加して実施。 ※参加費 高校生以上1,000円/人(*206人=206,000円) 小中学生500円/人(*191人=95,500円) 未就学児(無料)*18人 合計301,500円(前年比26,500円増) ※参加費は、町一般会計に収納。 ※予算支出用途(参加賞・メダル・賞品・ゼッケン・インク等)		
予算額 決算額	予算額 270,000 円	決算額 192,315 円	
担当課 自己評価	町内帰省中の参加者や毎年楽しみにされている町内外からの参加者等もあり町のPRには効果があると思われる。しかし、大会運営上、年末から年始にかけての準備・大会となり、期日の変更についての声も聞かれる。関係団体等と協議を行っているがどんど祭りや熊日駅伝等恒例行事が開催されるため、期日の変更及び運営の内容を検討する。		

(外部評価委員の意見)

- ・基本的には、現状維持が考えられるが、本事業に関わる担当者等の負担はどうか。期日の変更があっても参加する人は参加すると思う。
- ・町外参加者が多く、帰省と合わせて楽しみにされている方も多いため、関係者ができる範囲で継続して開催していただきたい。
- ・開催日の変更を願う。変更ができなければ、事業の廃止を含めた見直しも検討してほしい。
- ・町外からの参加者が多く、地域振興の側面が大きくなっていると考えられる。もてなしをされる婦人会は、高齢化で今後、継続的に協力されることも難しいのではないかと。思い切って社会体育事業から地域活性化事業へ舵を切り、スポンサーとの連携による広報活動の充実やぜんざい等のもてなしも事業者への委託等を検討してはどうか。
- ・48回も続く大会で多くの参加者もあるが、年末年始の準備・大会でスタッフ等に多大な負担がかかっている。期日の変更や運営内容を早急に検討して頂きたい。

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成30年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第39回宇城中学校新人駅伝大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	中学生の健全な精神と体力増強をめざし各学校独自の工夫がそれぞれなされ取り組まれている。こういった中でスポーツでも一番苦しいとされている駅伝大会を計画し、スポーツマンシップの高揚と宇城管内の中学生の親睦を深め、冬季トレーニングの成果発揮の場として実施。		
活動内容	2月24日(日)町内駅伝コース(男子・6区間・18km)(女子5区間・12km)において、宇城管内の中学校より男子14チーム(中央中1チーム・砥用中2チーム)、女子14チーム(中央中1チーム・砥用中2チーム)が参加して実施。 ※参加費 1チーム2,000円 ※予算支出用途(レプリカ・メダル・ゼッケン・インク・役員弁当代等) ※結果 男子 優勝(松橋中A) 2位(鶴城中A) 3位(砥用中A) 女子 優勝(鶴城中A) 2位(三角中A) 3位(松橋中A)		
予算額 決算額	予算額 97,000 円	決算額 94,550 円	
担当課 自己評価	新チームになって冬季の練習の成果を試す良い機会と考える。 安全面については、事故等が発生しないよう十分配慮したい。また、大会開催の経緯等を考慮しながら、大会参加費を徴収することとした。		

(外部評価委員の意見)	
<ul style="list-style-type: none"> ・交通状況等を把握し、事故のないように計画し、生徒同士の親睦が深まるような大会にしていたきたい。 ・とにかく、安全面に注意して、事故等のない大会にしてほしい。参加費を徴収する様にした事は、良かったと思う。 ・大会参加費の徴収については必要経費の参加者負担として妥当であるとする。町内中学校の生徒数が減少するなか、中学校関係者の意向も聞きながら長期的な方向性を検討していくことが必要ではないか。 ・本年度より参加費を徴収し経費の削減に務められており、冬季トレーニングの成果と今後の練習に向けての励みにもなる大会と思われる。 	

外部評価委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了